

FutureNet CMS-1300
ユーザーズガイド (テナント編)
Ver.2.0.0 対応版



1.	はじめに	4
1.1.	用語	4
2.	ログイン (およびログアウト)	5
2.1.	ログイン	5
2.1.1.	ログイン失敗	6
2.2.	ログアウト	7
3.	画面仕様	8
3.1.	テナント	8
3.1.1.	テナント情報	8
3.1.1.1.	テナント情報	8
3.1.1.2.	SSH パスワード変更	8
3.1.2.	製品名設定	9
3.1.2.1.	製品名追加	9
3.1.2.2.	製品名削除	10
3.1.3.	ファームウェア登録	11
3.1.3.1.	ファームウェアインポート	11
3.1.3.2.	ファームウェア削除	12
3.1.4.	グループ	13
3.1.4.1.	グループの追加	13
3.1.4.2.	グループの編集 (基本情報)	14
3.1.4.3.	グループの編集 (所属機器一覧)	15
3.1.4.4.	グループの削除	16
3.1.5.	HTTP 設定	17
3.1.5.1.	HTTP 設定	17
3.1.5.2.	認証情報	18
3.1.5.2.1.	認証情報 (追加)	18
3.1.5.2.2.	認証情報 (削除)	18
3.1.6.	スケジュール	19
3.1.6.1.	スケジュールの追加	20
3.1.6.2.	スケジュールの編集	21
3.1.6.3.	スケジュールの削除	22
3.1.7.	テナントデータ	23
3.1.7.1.	テナントデータの退避	23
3.1.7.2.	テナントデータの復帰	24
3.1.7.3.	テナントデータのダウンロード	25
3.1.7.4.	テナントデータのアップロード	25
3.2.	機器一覧	26
3.2.1.	機器リストインポート	27
3.2.1.1.	機器リストファイル	28
3.2.2.	ダウンロード	31
3.2.3.	機器の追加	32
3.2.4.	選択機器動作	33
3.2.4.1.	グループ参加	33
3.2.4.2.	機器削除	34
3.2.5.	機器詳細情報	35
3.2.5.1.	基本情報	35
3.2.5.2.	グループ	36
3.2.5.2.1.	グループ参加	36
3.2.5.2.2.	参加グループ一覧	36

3.2.5.3.					37
3.2.5.3.1.					38
3.2.5.3.2.					38
3.2.5.3.3.					39
3.2.5.3.4.					39
3.2.5.4.					40
3.2.5.4.1.					40
3.2.5.5.					41
3.2.5.6.					42
3.2.5.7.					43
3.3.					44
3.3.1.					44
3.3.2.					45
3.4.					46
3.4.1.					46
3.4.2.					46
4.	Appendix	47
4.1.					47
4.2.					48

1. はじめに

本書は、FutureNet CMS-1300 のユーザーズガイド(テナント編)です。

1.1. 用語

本書で使用する用語です。

CMS	FutureNet CMS-1300
NXR	FutureNet NXR シリーズ

2. ログイン（およびログアウト）

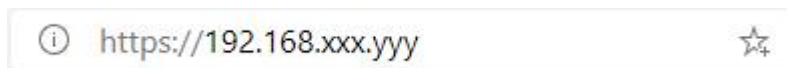
本装置へのログイン（および本装置からのログアウト）方法について示します。

2.1. ログイン

PCのWebブラウザを開いて、CMSのIPアドレス（またはFQDN）をアドレスバーに入力します。

※ CMSのIPアドレス（またはFQDN）は、システム管理者に確認してください。

- IPアドレスの場合



A screenshot of a browser address bar. On the left, there is an information icon (i) and a star icon (☆). The text in the address bar is "https://192.168.xxx.yyy".

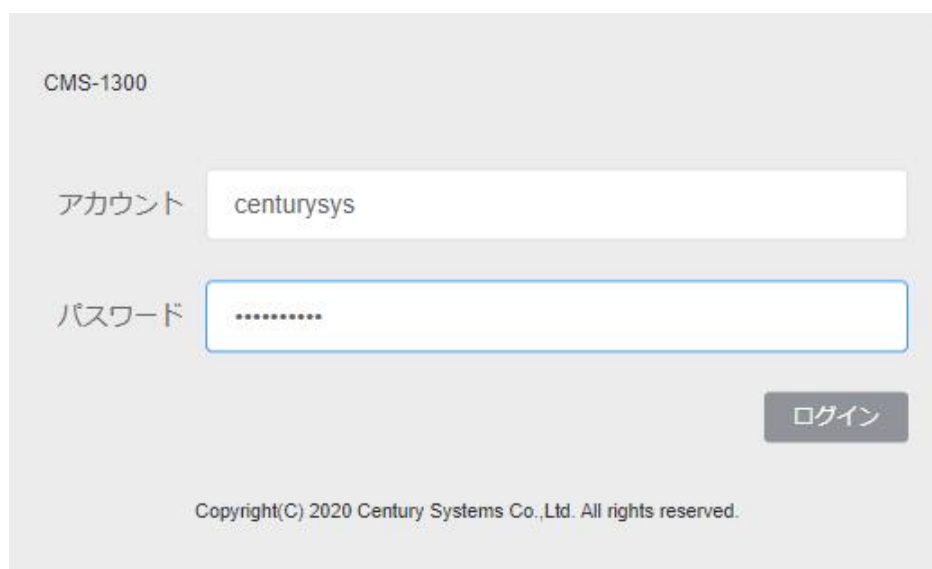
- FQDNの場合



A screenshot of a browser address bar. On the left, there is an information icon (i) and a star icon (☆). The text in the address bar is "https://cms1300.example.jp".

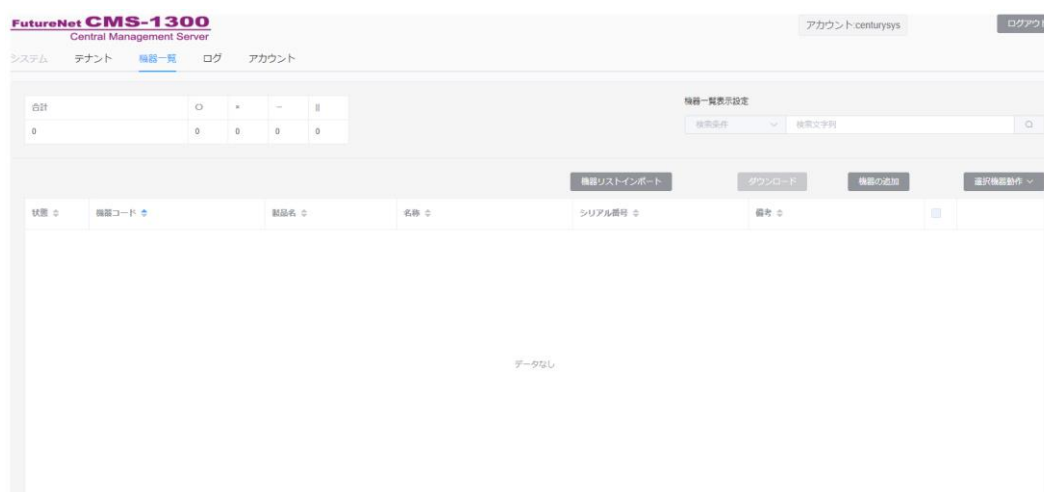
アカウントとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

※ アカウントとパスワードは、システム管理者に確認してください。



A screenshot of the CMS-1300 login page. The page title is "CMS-1300". There are two input fields: "アカウント" (Account) with the value "centurysys" and "パスワード" (Password) with masked characters ".....". A "ログイン" (Login) button is located at the bottom right. At the bottom of the page, there is a copyright notice: "Copyright(C) 2020 Century Systems Co.,Ltd. All rights reserved."

ログインに成功すると、以下のような画面が表示されます。

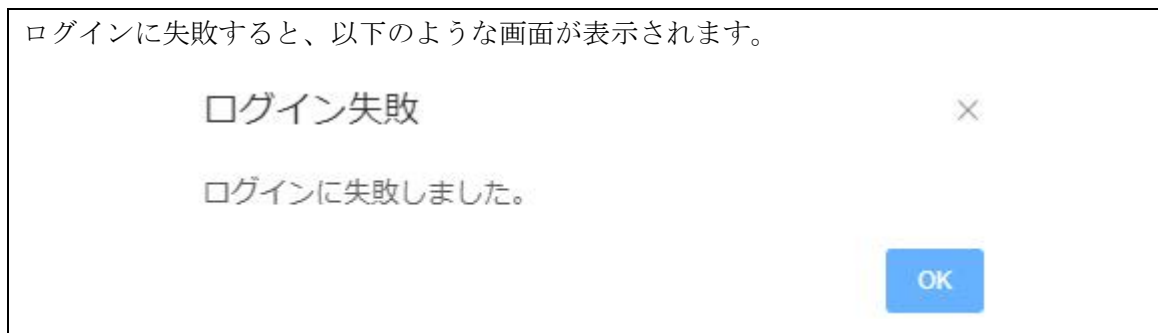


A screenshot of the CMS-1300 main dashboard. The page title is "FutureNet CMS-1300 Central Management Server". The user is logged in as "アカウント:centurysys" and there is a "ログアウト" (Logout) button. The dashboard shows a summary table with columns for "合計" (Total) and values for "0", "0", "0", "0", "0". There are also buttons for "機器リストインポート" (Import Device List), "ダウンロード" (Download), "機器の追加" (Add Device), and "選択機器動作" (Selected Device Action). The main content area is empty, showing "データなし" (No data).

以上で、本装置へのログインは完了です。

2.1.1. ログイン失敗

ログインに失敗すると、以下のような画面が表示されます。



- ログイン失敗時のメッセージと、原因および対応方法について示します。

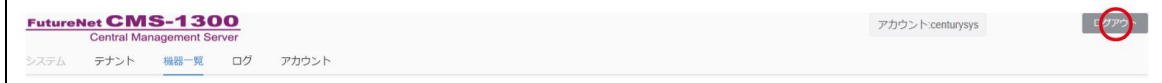
メッセージ	ログインに失敗しました。
原因および対応方法	アカウントが存在しません。 アカウントを確認してください。

メッセージ	認証に失敗しました。
原因および対応方法	アカウントに対するパスワードが間違っています。 パスワードを確認してください。

メッセージ	すでにログインしているユーザがいます。
原因および対応方法	アカウントに対するセッションが、すでに開始されています。 すでにログインしているユーザがないか確認してください。同じアカウントで、二重ログインすることは出来ません。 ブラウザを閉じて終了した場合は、しばらく（60 秒以上）待ってからログインしてください。

2.2. ログアウト

ログアウトするには、「ログアウト」をクリックします。



- ※ ブラウザを閉じて終了した場合、一定時間ログイン出来なくなります。
しばらく（60秒以上）待ってから、ログインしてください。

3. 画面仕様

本装置の画面仕様について説明します。

3.1. テナント

メインタブで、「テナント」を選択します。

システム **テナント** 機器一覧 ログ アカウント

※ テナントアカウントでは、「システム」を選択することは出来ません。「システム」を選択するには、admin アカウントが必要です。

3.1.1. テナント情報

「テナント情報」を選択すると表示されます。

システム **テナント** 機器一覧 ログ アカウント

テナント情報

テナント情報

テナント名: Century Systems Co., Ltd.
テナントコード: century

SSHパスワード変更

* 新しいSSHパスワード:

* 新しいSSHパスワード (確認):

変更

3.1.1.1. テナント情報

テナント情報が表示されます。

テナント情報

テナント名: Century Systems Co., Ltd.
テナントコード: century

3.1.1.2. SSH パスワード変更

SSH パスワードを変更することが出来ます。

SSHパスワード変更

* 新しいSSHパスワード:

* 新しいSSHパスワード (確認):

変更

新しい SSH パスワード

新しい SSH パスワードを入力します。

新しい SSH パスワード (確認)

確認のために、新しい SSH パスワードを再度入力します。

「変更」をクリックすると、SSH パスワードを変更します。

3.1.2. 製品名設定

「製品名設定」を選択すると表示されます。



3.1.2.1. 製品名追加

「追加」をクリックします。



以下の画面が表示されます。



製品名

製品名を入力します。

「登録」をクリックすると、製品名の登録が完了します。

製品名を登録しました。

OK

3.1.2.2. 製品名削除

当該製品の「削除」をクリックします。

製品名	
nxr530	<input type="button" value="削除"/>
nxrg110	<input type="button" value="削除"/>

以下の画面が表示されます。

製品名[nxrg110]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、製品名を削除します。

製品名を削除しました。

OK

3.1.3. ファームウェア登録

「ファームウェア登録」を選択すると表示されます。



3.1.3.1. ファームウェアインポート

「インポート」をクリックします。





以下の画面が表示されます。



ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、ファームウェアを指定します。
製品名	プルダウンから「製品名」を選択します。
ラベル	ラベルを入力します。
バージョン	バージョンを入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、ファームウェアを登録します。	

3.1.3.2. ファームウェア削除

当該ファームウェアの「削除」をクリックします。

登録日時	製品名	ラベル	バージョン	SHA1	備考	
2020-07-17 16:10:48	nxr530	nxr530-v210601	v210601b09	76a3a0429e0559ef254f6b0d1509d79 b39b53682		
2020-07-17 16:35:52	nxrg110	g110-v210702	v210702b07	b522076f0576515825bdfdad8594568 bfeed285f	latest	

以下の画面が表示されます。

ファームウェア[nxrg110:g110-v210702]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、ファームウェアを削除します。

ファームウェアを削除しました。

OK

3.1.4. グループ

「グループ」を選択すると表示されます。

3.1.4.1. グループの追加

「グループの追加」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

テナントコード	当該テナントのテナントコードが表示されます。
グループ名	グループ名を入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、グループを追加します。	

3.1.4.2. グループの編集（基本情報）

当該グループの「編集」をクリックします。

グループ名	備考		
nxf			
sales_group	sales department		

以下の画面で「基本情報」を選択します。

グループ情報 ×

基本情報 所属機器一覧

グループ名: sales_group

備考: 変更

キャンセル

基本情報

グループ名	グループ名が表示されます。
備考	備考を編集します。
「変更」をクリックすると、編集内容を本装置に登録します。	
「キャンセル」をクリックすると、編集をキャンセルします。	

3.1.4.3. グループの編集（所属機器一覧）

グループ名	備考		
nxf			
sales_group	sales department	1	

- ① 当該グループの「編集」をクリックします。
- ② 「所属機器一覧」を選択します。
- ③ 「削除」をクリックすると、当該機器がグループから離脱します。

基本情報 **所属機器一覧** **2**

グループ所属機器一覧

機器コード	名称	<input type="checkbox"/>	
nxf01		<input type="checkbox"/>	
nxf02		<input type="checkbox"/>	
nxf03		<input type="checkbox"/>	

選択機器動作

3

- ① 当該グループの「編集」をクリックします。
- ② 「所属機器一覧」を選択します。
- ③ グループから離脱する機器を選択します（複数選択することが出来ます）。
- ④ 「グループから離脱」を実行すると、当該機器がグループから離脱します。

基本情報 **所属機器一覧** **2**

グループ所属機器一覧

機器コード	名称	<input type="checkbox"/>	
nxf01		<input checked="" type="checkbox"/>	
nxf02		<input checked="" type="checkbox"/>	
nxf03		<input type="checkbox"/>	

選択 **4**

グループから離脱

3

3.1.4.4. グループの削除

当該グループの「削除」をクリックします。

グループ名	備考		
nxf		↶	🗑
sales_group	sales department	↶	🗑

以下の画面が表示されます。

グループ[sales_group]を削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、グループを削除します。

グループを削除しました。

OK

3.1.5. HTTP 設定

「HTTP 設定」を選択すると表示されます。



3.1.5.1. HTTP 設定

「HTTP 設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

HTTP アクセス設定 HTTPS	認証	HTTPS アクセス時の認証について、「必要」 / 「不要」を選択します。
「変更」をクリックすると、変更内容を保存します。		

3.1.5.2. 認証情報

「認証情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。

書き込み権限	トークン	
あり	9c2a93031c2878d70838685d87fc0051ace88002	削除
なし	1b50ed98b52b9c5fdb2878a263c1e3e751bd9562	削除

3.1.5.2.1. 認証情報（追加）

書き込み権限: あり なし

キャンセル 登録

書き込み権限	「あり」／「なし」を選択します。
「キャンセル」をクリックすると、認証情報の追加をキャンセルします。	
「登録」をクリックすると、認証情報を（追加）登録します。	

3.1.5.2.2. 認証情報（削除）

当該認証情報の「削除」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

認証情報を削除しますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、当該認証情報を削除します。

3.1.6. スケジュール

「スケジュール」を選択すると表示されます。

システム テナント 機器一覧 ログ アカウント

テナント情報

製品名設定

ファームウェア登録

グループ

HTTP設定

スケジュール

テナントデータ

スケジュール

スケジュールの追加

スケジュール	コマンド	ラベル	グループ	前回実行日時	備考
データなし					

3.1.6.1. スケジュールの追加

スケジュールの追加

「スケジュールの追加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

スケジュール (追加) ×

*コマンド:

*ラベル:

グループ:

周期実行設定: 1回限り 繰り返し

実行日時

月: 日:

曜日:

時: *分:

備考:

コマンド	プルダウンから、コマンドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトファームウェア更新 ● デフォルトコンフィグ更新 	
ラベル	ラベルを入力します。	
グループ	グループを選択します。	
周期実行設定	「1回限り」／「繰り返し」を選択します。	
実行日時	月	プルダウンから、月を選択します。 「指定無し」または「1～12」の値を指定します。
	日	プルダウンから、日を選択します。 「指定無し」または「1～31」の値を指定します。
	曜日	プルダウンから、曜日を選択します。 「指定無し」、「平日 (月～金)」または「日～土」の値を指定します。
	時	プルダウンから、時を選択します。 「指定無し」または「0～23」の値を指定します。
	分	プルダウンから、分を選択します。 「0～59」の値を指定します。
備考	備考を入力します。	
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。		
「登録」をクリックすると、スケジュールを登録します。		

3.1.6.2. スケジュールの編集

「編集」をクリックします。

スケジュール	コマンド	ラベル	グループ	前回実行日時	備考
12月31日 23時59分	デフォルトファームウェア更新	nrx530-v210601	soft2	未実行	

以下の画面が表示されます。

スケジュール (変更) ×

*コマンド:

*ラベル:

グループ:

周期実行設定: 1回限り 繰り返し

実行日時

月: 日:

曜日:

時: *分:

備考:

コマンド	プルダウンから、コマンドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> デフォルトファームウェア更新 デフォルトコンフィグ更新 	
ラベル	ラベルを変更します。	
グループ	グループを選択します。	
周期実行設定	「1回限り」／「繰り返し」を選択します。	
実行日時	月	プルダウンから、月を選択します。 「指定無し」または「1～12」の値を指定します。
	日	プルダウンから、日を選択します。 「指定無し」または「1～31」の値を指定します。
	曜日	プルダウンから、曜日を選択します。 「指定無し」、「平日 (月～金)」または「日～土」の値を指定します。
	時	プルダウンから、時を選択します。 「指定無し」または「0～23」の値を指定します。
	分	プルダウンから、分を選択します。 「0～59」の値を指定します。
備考	備考を変更します。	
「キャンセル」をクリックすると、変更内容を破棄します。		
「登録」をクリックすると、スケジュールを変更します。		

3.1.6.3. スケジュールの削除

「削除」をクリックします。

スケジュール	コマンド	ラベル	グループ	前回実行日時	備考	
12月31日 23時59分	デフォルトファーム ウェア更新	nrx530-v210601	soff2	未実行		<input type="button" value="削除"/>

以下の画面が表示されます。

スケジュールを削除しますか？

キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該スケジュールを削除します。

3.1.7. テナントデータ

「テナントデータ」を選択すると表示されます。



3.1.7.1. テナントデータの退避

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ: **退避** 復帰 ダウンロード アップロード

「退避」をクリックします。

テナントデータを本体HDDへ退避しますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、テナントデータの退避を開始します。

テナントデータの退避を開始しました。

OK

「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

テナントデータの退避を開始したためログアウトしました。
しばらくしてから再度ログインしてください。

OK

3.1.7.2. テナントデータの復帰

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ：

「復帰」をクリックします。

テナントデータを本体HDDから復帰しますか？

「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

復帰するテナントデータの内容は以下のとおりです。
間違いなければ[OK]を押してデータ復帰を開始してください。

テナントコード：century
バックアップ日時：Fri Jul 17 2020 19:16:17 GMT+0900
(日本標準時)
機器数：0

「OK」をクリックすると、テナントデータの復帰を開始します。

テナントデータの復帰を開始しました。

「OK」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

テナントデータの復帰を開始したためログアウトしました。
しばらくしてから再度ログインしてください。

3.1.7.3. テナントデータのダウンロード

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ： 退避 復帰 ダウンロード アップロード

① 「ダウンロード」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

本体HDDのテナントデータをダウンロードしますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、テナントデータをPCにダウンロードします。

3.1.7.4. テナントデータのアップロード

テナントデータの退避と復帰

本体HDDストレージ： 退避 復帰 ダウンロード アップロード

① 「アップロード」をクリックします。

テナントデータのアップロード (HDD) ×

本体HDDのテナントデータへアップロードします。

* ファイル： ファイルを選択 century_config_hdd.dat

キャンセル 登録

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、テナントデータを指定します。
	「キャンセル」をクリックすると、テナントデータのアップロードをキャンセルします。
	「登録」をクリックすると、テナントデータのアップロードを行います。

3.2. 機器一覧

メインタブで、「機器一覧」を選択します。



以下の画面が表示されます。

機器一覧表示設定

検索条件: [] 検索文字列: []

合計	○	×	-	
4	2	1	1	0

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考		
○	nr01	nr530	NXR530	11111111	MEMO1	<input type="checkbox"/>	と
○	nr02	nr0110	NXRG110	22222222	MEMO2	<input type="checkbox"/>	と
×	nr03	nr0100	NXRG100	33333333	MEMO3	<input type="checkbox"/>	と
-	nr04	nr530	test			<input type="checkbox"/>	と

① CMS に登録されている機器の状態を表します。

○	正常	CMS への定期的な HTTP 接続が正常に行われている機器
×	異常	CMS への HTTP 接続が一定期間行われていない機器
-	停止	停止している機器
	監視対象外	CMS への定期的な HTTP 接続を行わない機器

② CMS に登録されている機器を一覧表示します。

3.2.1. 機器リストインポート

機器リストインポート ダウンロード 機器の追加 選択機器動作 ▾

「機器リストインポート」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器リストインポート

CMSへインポートする機器リストファイルを指定して下さい。

* ファイル: nodelist_century.csv

キャンセル 登録

「ファイルを選択」をクリックして、機器リストファイルを指定します。
「登録」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器リストチェック結果

ファイルチェック結果は次のとおりです。

種別: 機器の追加 OK レコード数: 3 NG レコード数: 0

	番号	結果	メッセージ	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考
>	1	OK		nxr01	nxr530	NXR530	11111111	MEMO1
>	2	OK		nxr02	nxrg110	NXRG110	22222222	MEMO2
>	3	OK		nxr03	nxrg100	NXRG100	33333333	MEMO3

キャンセル インポート

結果が「OK」であることを確認します。
「インポート」をクリックすると、機器リストのインポートを実行します。

3.2.1.1. 機器リストファイル

機能リストインポートでは、以下の操作に対応しています。また、インポートする機器リストファイルは、CSV フォーマットで作成します。

- 機器の追加 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
add_node, node_code, product_name, name, serial_number, memo	
add_node	機器を追加するコマンド (固定文字列)
node_code	機器コード
product_name	製品名
name	名称
serial_number	シリアル番号
memo	備考
以下に、nodelist.csv の例を示します。	
add_node, nxr01, nxr530, NXR530, 11111111, MEMO1	
add_node, nxr02, nxrg110, NXRG110, 22222222, MEMO2	
add_node, nxr03, nxrg100, NXRG100, 33333333, MEMO3	

- ※ 一つの CSV ファイルに、異なる操作を指定することは出来ません。
例えば、同一ファイル内に、add_node と set_node を指定することは出来ません。
- ※ 行末にカンマ(,)は使用しないでください。

- 機器の変更 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
set_node, node_code, product_name, name, serial_number, memo	
set_node	機器を変更するコマンド (固定文字列)

- 機器の削除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット	
del_node, node_code	
del_node	機器を削除するコマンド (固定文字列)


- コンフィグの追加 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット add_config, node_code, config_label, memo, filename	
add_config	コンフィグを追加するコマンド (固定文字列)
config_label	コンフィグのラベル
filename	zip 内のファイル名

nodelist.csv の例です。
add_config, nxr01, config2, MEMO, nxr530.config

nodelist.zip の例です。
nodelist.csv
nxr530.config

インポートするには、機器リストインポートの画面で、zip ファイルを指定します。



- コンフィグの削除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット del_config, node_code, config_label	
del_config	コンフィグを削除するコマンド (固定文字列)

- デフォルトファームウェアの設定 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット set_default_firmware, node_code, firmware_label	
set_default_firmware	デフォルトファームウェアを設定するコマンド (固定文字列)
firmware_label	ファームウェアインポート時に指定したラベル

- デフォルトファームウェアの解除 (Ver.2.0.0～)

CSV フォーマット del_default_firmware, node_code	
del_default	デフォルトファームウェアの設定を解除するコマンド (固定文字列)

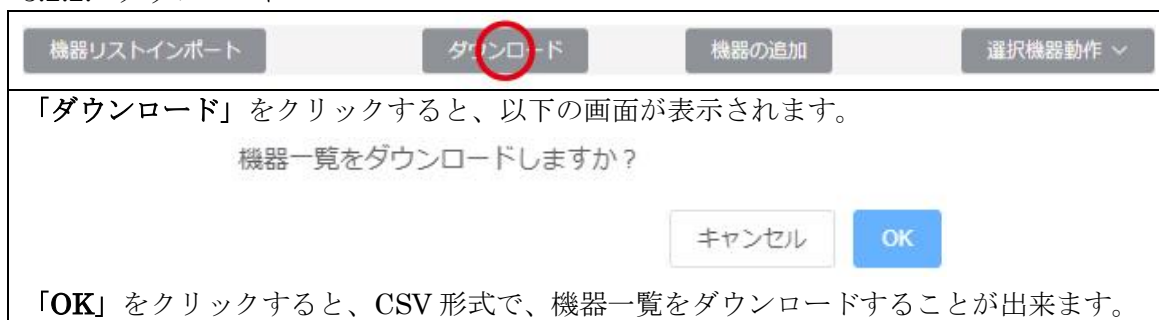
- デフォルトコンフィグの設定 (Ver.2.0.0～)

set_default_config, node_code, config_label	
set_default_config	デフォルトコンフィグの設定をするコマンド (固定文字列)

- デフォルトコンフィグの解除 (Ver.2.0.0～)

del_default_config, node_code	
del_default_config	デフォルトコンフィグの設定を解除するコマンド (固定文字列)

3.2.2. ダウンロード



機器リストインポート **ダウンロード** 機器の追加 選択機器動作 ▾

「ダウンロード」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器一覧をダウンロードしますか？

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、CSV形式で、機器一覧をダウンロードすることができます。

3.2.3. 機器の追加

機器リストインポート
ダウンロード
機器の追加
選択機器動作 ▾

「機器の追加」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

機器の新規追加 ×

テナントコード： century

* 機器コード：

* 製品名： ▾

名称：

シリアル番号：

備考：

キャンセル 登録

テナントコード	テナントコードが表示されます。
機器コード	機器コードを入力します。
製品名	プルダウンから、製品名を選択します。 ※ 製品名が未登録の場合は、「3.1.2.1 製品名追加」を参照してください。
名称	名称を入力します。
シリアル番号	シリアル番号を入力します。
備考	備考を入力します。
「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。	
「登録」をクリックすると、入力内容を登録します。	

3.2.4. 選択機器動作

3.2.4.1. グループ参加

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考	選択	グループ参加 機器削除
<input type="radio"/>	nxr01	nxr530				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	nxr02	nxrg110				<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	nxr03	nxrg100				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- ① グループ参加させたい機器を選択します。
- ② 「選択機器動作」から、「グループ参加」を選択します。

以下の画面が表示されます。

グループへの参加 ×

選択した機器数：2

機器コード	名称
nxr01	
nxr02	

* 参加するグループ：

nxr

sales_group

参加するグループ

プルダウンから、機器を参加させるグループを選択します。
※ グループが未登録の場合は、「3.1.4.1 グループの追加」を参照してください。

「参加」をクリックすると、当該機器がグループに参加します。

「キャンセル」をクリックすると、グループへの参加をキャンセルします。

3.2.4.2. 機器削除

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考		
<input type="radio"/>	mxr01	mxr530				<input checked="" type="checkbox"/>	グループ参加
<input type="radio"/>	mxr02	mxrg110				<input checked="" type="checkbox"/>	機器削除
<input type="radio"/>	mxr03	mxrg100				<input type="checkbox"/>	と

① 削除したい機器を選択します。

② 「選択機器動作」から、「**機器削除**」を選択します。

以下の画面が表示されます。

選択した機器数：2

機器を削除しますか？

「OK」をクリックすると、当該機器を削除します。

3.2.5. 機器詳細情報

当該機器の「編集」をクリックします。

状態	機器コード	製品名	名称	シリアル番号	備考		
○	nrx01	nrx530	NXR530	11111111	MEMO1	<input type="checkbox"/>	②
○	nrx02	nrxg110	NXRG110	22222222	MEMO2	<input type="checkbox"/>	②
×	nrx03	nrxg100	NXRG100	33333333	MEMO3	<input type="checkbox"/>	②

以下の画面が表示されます。

機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 拡張情報

機器コード: nrx01

製品名: nrx530

名称:

シリアル番号:

備考:

製品名: NXR-530

シリアル番号: 10760000025

バージョン: 21.6.1

ホスト名: nrx530

HTTPアクセス: online

アクセス間隔: 600

更新日時: 2020-07-29T15:16:02Z

startup-config: 01530

running-config: 01530

3.2.5.1. 基本情報

基本情報 **グループ** コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 拡張情報

「基本情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。

機器詳細情報

基本情報 **グループ** コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 拡張情報

機器コード: nrx01

製品名: nrx530

名称:

シリアル番号:

備考:

製品名: NXR-530

シリアル番号: 10760000025

バージョン: 21.6.1

ホスト名: nrx530

HTTPアクセス: online

アクセス間隔: 600

更新日時: 2020-07-29T15:16:02Z

startup-config: 01530

running-config: 01530

- ① 「機器の追加」で登録した内容が表示されます。
機器コード、製品名は、変更することが出来ません。
名称、シリアル番号、備考は、変更することが出来ます。
「変更」をクリックすると、設定を変更することが出来ます。
入力内容を破棄するには、「キャンセル」をクリックします。

- ② 機器から通知された情報を表示します。

3.2.5.2. グループ



「グループ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



機器詳細情報

基本情報 **グループ** コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 拡張情報

グループ参加


*グループ名: nrx 参加

参加グループ一覧

グループ名	
sales_group	削除

キャンセル

3.2.5.2.1. グループ参加



グループ参加

*グループ名: nrx 参加

グループ名	
sales_group	削除

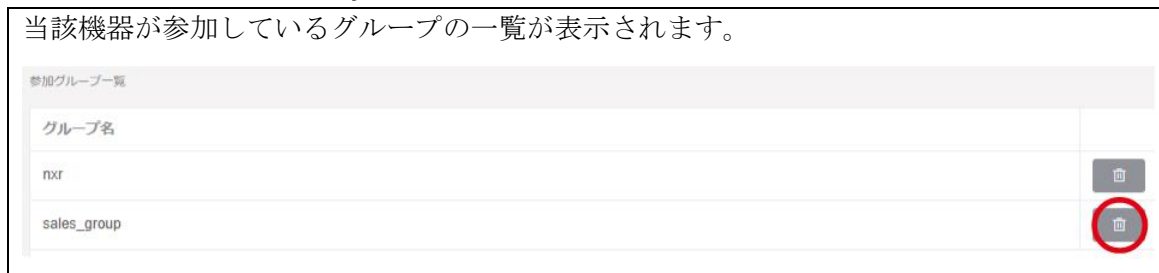
グループ [nrx] へ参加しますか?

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、当該機器がグループに参加します。

3.2.5.2.2. 参加グループ一覧

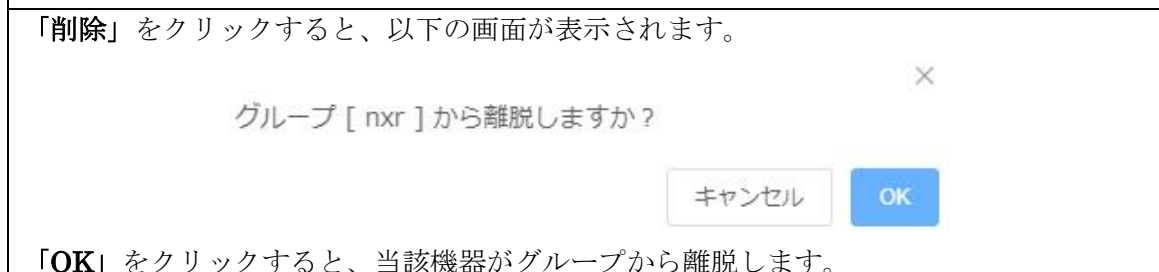
当該機器が参加しているグループの一覧が表示されます。



参加グループ一覧

グループ名	
nrx	削除
sales_group	削除

「削除」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



グループ [nrx] から離脱しますか?

キャンセル OK

「OK」をクリックすると、当該機器がグループから離脱します。

3.2.5.3. コンフィグ

「コンフィグ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 拡張情報

コンフィグ

デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	PC->CMS CMS->PC 目

キャンセル

3.2.5.3.1. コンフィグのインポート

「PC→CMS」をクリックすると、PC から CMS に、コンフィグをインポートすることが出来ます。

コンフィグ					
デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	<div style="text-align: right;"> PC→CMS 🗑️ </div>

以下の画面が表示されます。

コンフィグインポート ×

* ファイル: nxr530.xml

* ラベル:

* ファイルタイプ: xml tgz show-config

備考:

ファイル	「ファイルを選択」をクリックして、インポートするコンフィグを指定します。
ラベル	ラベルを入力します。
ファイルタイプ	ファイルタイプを選択します。
備考	備考を入力します。
<p>「キャンセル」をクリックすると、コンフィグのインポートをキャンセルします。</p> <p>「登録」をクリックすると、当該コンフィグを CMS に登録します。</p>	

3.2.5.3.2. コンフィグのダウンロード

「CMS→PC」をクリックすると、CMS から PC に、コンフィグをダウンロードすることが出来ます。

コンフィグ					
デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	<div style="text-align: right;"> PC→CMS CMS→PC 🗑️ </div>

以下の画面が表示されます。

×

選択したファイルをダウンロードしますか？

「OK」をクリックすると、当該コンフィグを PC にダウンロードします。

3.2.5.3.3. コンフィグの削除

「削除」をクリックすると、CMS からコンフィグを削除します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	<div style="text-align: right;">PC->CMS CMS->PC </div>

以下の画面が表示されます。

選択したコンフィグをCMSから削除しますか？



キャンセル

OK

「OK」をクリックすると、当該コンフィグを CMS から削除します。

3.2.5.3.4. コンフィグのデフォルト指定

「デフォルト指定」をチェックすると、当該コンフィグをデフォルトコンフィグとして設定します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input checked="" type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	<div style="text-align: right;">CMS->PC </div>
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:41:01	xmlconfig3	xml	startup-config	<div style="text-align: right;">CMS->PC </div>

以下の画面が表示されます。

コンフィグのデフォルト指定を選択しました。

OK

「デフォルト指定」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

デフォルト指定	保存日時	ラベル	タイプ	備考	
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:14:12	config2	show-config	MEMO	<div style="text-align: right;">CMS->PC </div>
<input type="checkbox"/>	2020-07-30 11:41:01	xmlconfig3	xml	startup-config	<div style="text-align: right;">CMS->PC </div>

以下の画面が表示されます。

コンフィグのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.5.4. ファームウェア

基本情報 グループ コンフィグ **ファームウェア** SYSLOG 監視情報 拡張情報

「ファームウェア」を選択すると、以下の画面が表示されます。
※ ファームウェアが未登録の場合は、「3.1.3 ファームウェア登録」を参照してください。

機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ **ファームウェア** SYSLOG 監視情報 拡張情報

ファームウェア

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	latest	v210601	

キャンセル

3.2.5.4.1. ファームウェアのデフォルト指定

「デフォルト指定」をチェックすると、当該ファームウェアをデフォルトファームウェアとして設定します。

ファームウェア

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input checked="" type="checkbox"/>	latest	v210601	

以下の画面が表示されます。

ファームウェアのデフォルト指定を選択しました。

OK

「デフォルト指定」のチェックを外すと、デフォルト指定を解除します。

ファームウェア

デフォルト指定	ラベル	バージョン	備考
<input type="checkbox"/>	nxr530-v210601	v210601b09	

以下の画面が表示されます。

ファームウェアのデフォルト指定を解除しました。

OK

3.2.5.5. SYSLOG

「SYSLOG」を選択します。

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア **SYSLOG** 監視情報 拡張情報

以下の画面が表示されます。

※ 表示される SYSLOG は、NXR の設定に準じます。

機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア **SYSLOG** 監視情報 拡張情報

SYSLOGファイル一覧

ファイル	取得日時		
最新	2020-07-30 12:48:19	① 表示	② ダウンロード
アーカイブ1	2020-07-30 12:48:19	表示	ダウンロード
アーカイブ2	2020-07-30 11:48:35	表示	ダウンロード

キャンセル

① 「表示」をクリックすると、当該 SYSLOG が表示されます。

SYSLOGファイル表示 (アーカイブ1)

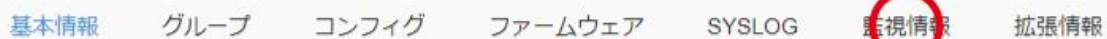
```
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-ng[2504]: Configuration reload request received, reloading configuration;
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-rotate: Log cleanup completed.
Jul 30 13:50:01 nxr530 cmev2client: get import config failed.
Jul 30 13:50:01 nxr530 scheduler: schedule 3 config copy failed : Cant import config
Jul 30 13:50:01 nxr530 cmev2client: post syslog archived successful.
Jul 30 13:50:01 nxr530 syslog-rotate: Log backup to OMS success
Jul 30 13:55:01 nxr530 scheduler: schedule 4 executes config copy
Jul 30 13:55:01 nxr530 cmev2client: get import config failed.
Jul 30 13:55:01 nxr530 scheduler: schedule 4 config copy failed : Cant import config
Jul 30 13:58:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:05:01 nxr530 scheduler: schedule 1 executes system notify
Jul 30 14:05:02 nxr530 cmev2client: put information-extra successful.
Jul 30 14:08:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:18:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:25:01 nxr530 scheduler: schedule 5 executes config copy
Jul 30 14:25:01 nxr530 cmev2client: get import config failed.
Jul 30 14:25:01 nxr530 scheduler: schedule 5 config copy failed : Cant import config
Jul 30 14:28:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:38:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
Jul 30 14:40:01 nxr530 scheduler: schedule 10 executes syslog copy
Jul 30 14:40:01 nxr530 cmev2client: put syslog latest successful.
Jul 30 14:45:01 nxr530 scheduler: schedule 2 executes config copy
Jul 30 14:45:01 nxr530 cmev2client: get import config failed.
Jul 30 14:45:01 nxr530 scheduler: schedule 2 config copy failed : Cant import config
Jul 30 14:48:15 nxr530 cmev2client: put information-basic successful.
```

キャンセル

② 「ダウンロード」をクリックすると、当該 SYSLOG を PC にダウンロードすることが出来ます。

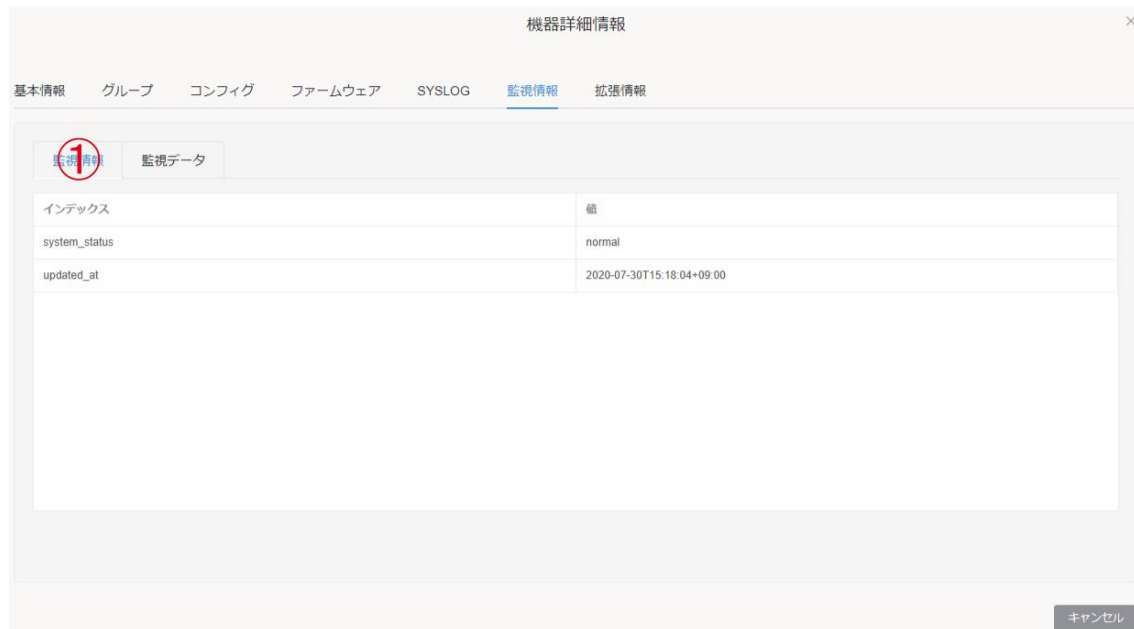
3.2.5.6. 監視情報

「監視情報」を選択します。



基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG **監視情報** 拡張情報

① 「監視情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。



機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG **監視情報** 拡張情報

1 監視データ

インデックス	値
system_status	normal
updated_at	2020-07-30T15:18:04+09:00

キャンセル

② 「監視データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



機器詳細情報

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG **監視情報** 拡張情報

監視情報 **2** 監視データ

```
{
  "system_status": "normal",
  "updated_at": "2020-07-30T15:18:04+09:00",
  "list": []
}
```

キャンセル

① NXR から取得した情報を、テキスト形式で表示します。

② NXR から取得した情報を、JSON 形式で表示します。

※ 取得可能な情報は、NXR の設定に準じます。

3.2.5.7. 拡張情報

「拡張情報」を選択します。

基本情報 グループ コンフィグ ファームウェア SYSLOG 監視情報 **拡張情報**

① 「拡張情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。

インデックス	値
updated_at	2020-07-30T17:05:01Z
#interfaces	ethernet0
	Link encap:Ethernet HWaddr 00:80:6D:A1:00:49
	inet addr:192.168.0.101 Bcast:192.168.0.255 Mask:255.255.255.0
	inet6 addr: fe80::280:6dff:fea1:49/64 Scope:Link
	UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
	RX packets:781 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
	TX packets:823 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
	collisions:0 txqueuelen:1000
	RX bytes:262781 (256.6 Kb) TX bytes:99471 (97.1 Kb)
	ethernet1

② 「拡張データ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
{
  "updated_at": "2020-07-30T17:05:01Z",
  "data": "#Interfaces\nethernet0\n  Link encap:Ethernet HWaddr 00:80:6D:A1:00:49 \n      inet addr:192.168.0.101 Bcast:192.168.0.255 Mask:255.255.255.0\n      inet6 addr: fe80::280:6dff:fea1:49/64 Scope:Link\n      UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1\n      RX packets:781 error\ns:0 dropped:0 overruns:0 frame:0\n      TX packets:823 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0\n      collisions:0 txqueuelen:1000 \n      RX bytes:262781 (256.6 Kb) TX bytes:99471 (97.1 Kb)\nethernet1\n  Link encap:Ethernet HWaddr 00:80:6D:A1:00:4A \n      inet6 addr: fe80::280:6dff:fea1:4a/64\nScope:Link\n      UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1\n      RX packets:3210 errors:0 dropped:3210 overruns:0 frame:0\n      TX packet\ns:7 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0\n      collisions:0 txqueuelen:1000 \n      RX bytes:192600 (188.0 Kb) TX bytes:826 (826.0 b)\nethernet2\n  Link encap:Ethernet HWaddr 00:80:6D:A1:00:4B \n      inet addr:2.2.2.2 Bcast:2.2.2.255 Mask:255.255.255.0\n      UP BROADCAST MULTICAST MTU:1500 Met\nric:1\n      RX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0\n      collisions:0 txqueu\nelen:1000 \n      RX bytes:0 (0.0 b) TX bytes:0 (0.0 b)\nMemory:404000000-404007ffff \n\nLoad Average:0.00 0.00 0.00 1/117 4576\n\nUptime:1605\n6.28 15993.12\n\nMemory usage\nMemTotal: 413792 kB\nMemFree: 244912 kB\nMemAvailab\nle: 30512 kB\nBuffers: 20480 kB\nCached: 72328 kB\nSwapCached: 0 kB\nActive: 88800 kB\nInactive: 34896 kB\nActive(anon): 31992 kB\nInactive(anon): 5696 kB\nActive\n(file): 56808 kB\nInactive(file): 29200 kB\nUnvictab\nle: 0 kB\nMlocked: 0 kB\nSwapTotal: 0 kB\nSwapFree: 0 kB\nDirty: 0 kB\nWriteback: 0 kB\nAnonPages: 30892 kB\nMapped: 26232 kB\nShmem: 6800 kB\nSlab: 24936 kB\nSReclaimab\nle: 9536 kB\nSUnreclaim: 15400 kB\nKernelStack: 1872 kB\nPageTables: 1760 kB\nNFS_Unstab\nle: 0 kB\nBounce:
```

① NXR から取得した情報を、テキスト形式で表示します。

② NXR から取得した情報を、JSON 形式で表示します。

※ 取得可能な情報は、NXR の設定に準じます。

3.3. ログ

メインタブで、「ログ」を選択します。



3.3.1. 検索

「検索」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

A dialog box titled 'ログ検索条件' with a close button (X) in the top right. It contains several input fields: '期間' (Period) with a calendar icon and '開始' (Start) and '終了' (End) labels; 'ユーザ名' (User Name); 'テナントコード' (Tenant Code) with 'century' entered; '機器コード' (Device Code); 'グループ名' (Group Name); and '順序' (Order) with a dropdown menu showing '昇順' (Ascending). At the bottom right are 'キャンセル' (Cancel) and '検索' (Search) buttons. Above the dialog, a search bar with a magnifying glass icon and a 'ダウンロード' (Download) button is visible.

「期間」：開始

カレンダーボタンを押して、開始日を指定します。
空欄の場合、開始は CMS 内の一番古いログです。

「期間」：終了

カレンダーボタンを押して、終了日を指定します。
空欄の場合、終了はCMS内の最新ログです。

「ユーザ名」

操作または対象ユーザ名を指定します。
空欄の場合、ユーザ名による絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「テナントコード」

対象機器の機器コードを指定します。
空欄の場合、テナントコードによる絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「機器コード」

対象機器の機器コードを指定します。
空欄の場合、機器コードによる絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 16 文字です。

「グループ名」

対象グループのグループ名を指定します。
空欄の場合、グループ名による絞込みを行いません。
入力できる文字数は最大 32 文字です。

「順序」

検索結果の表示順序を選択します。

「昇順」の場合、古いログから 5000 件を表示します。

「降順」の場合、新しいログから 5000 件を表示します。

「キャンセル」をクリックすると、入力内容を破棄します。

「検索」をクリックすると、上記の指定条件で検索を実行します。

※ 指定条件は、完全一致するように入力してください。

3.3.2. ダウンロード

								検索	ダウンロード
日時	分類	発行元種別	発行元コード	対象種別	対象コード	イベント	オプション		
「ダウンロード」をクリックすると、表示結果を CSV 形式でダウンロードすることができます。									

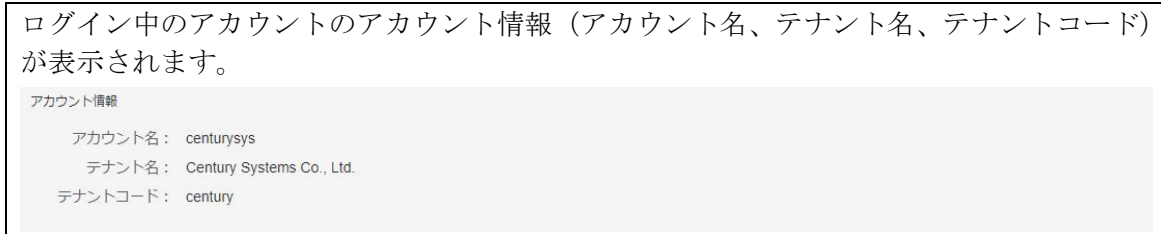
3.4. アカウント

メインタブで、「アカウント」を選択します。



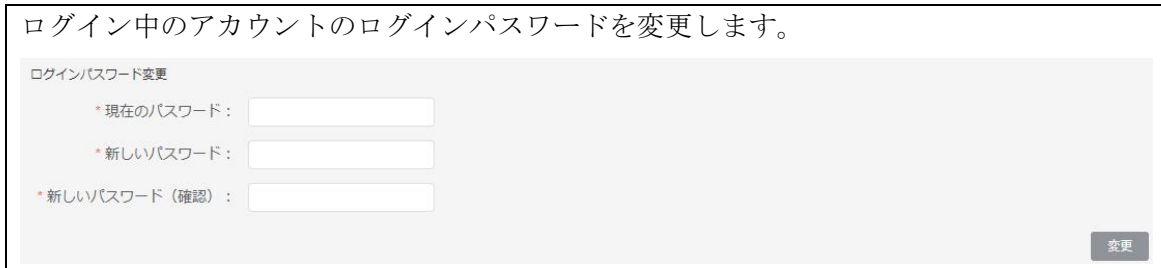
3.4.1. アカウント情報

ログイン中のアカウントのアカウント情報（アカウント名、テナント名、テナントコード）が表示されます。



3.4.2. ログインパスワード変更

ログイン中のアカウントのログインパスワードを変更します。



現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード (確認)	確認のために、新しいパスワードを再度入力します。
「変更」をクリックすると、ログインパスワードを変更します。	

4. Appendix

4.1. サポートについて

- お客様サポート

お客様サポートでは、弊社製品をご購入されたお客様をサポートいたします。当製品の使用方法や、マニュアルの不明な点については、電話、電子メール、FAXにてお問い合わせください。詳しくは、下記 URL をご覧ください。

<https://www.centurysys.co.jp/support/>

- ダウンロード

本装置の最新ファームウェアや「設定例」等のドキュメントは、下記 URL からダウンロードすることが出来ます。

<https://www.centurysys.co.jp/downloads/>

機能追加や修正に伴い、ファームウェアを随時更新しています。できるだけ最新のファームウェアで、本装置を運用するようにしてください。

4.2. イベントログ一覧

本装置で定義されているイベントログの一覧です。

イベント	説明
機器追加	機器を CMS に登録した。
機器削除	機器登録を CMS から削除した。
コンフィグ登録	機器のコンフィグを CMS に登録した。
コンフィグ削除	機器のコンフィグを CMS から削除した。
コンフィグ デフォルト指定選択	コンフィグのデフォルト指定を選択した。
コンフィグ デフォルト指定解除	コンフィグのデフォルト指定を解除した。
ファームウェアイメージ登録	機器ファームウェアイメージファイル CMS に登録した。
ファームウェアイメージ削除	機器ファームウェアイメージファイル CMS から削除した。
ファームウェア デフォルト指定選択	ファームウェアのデフォルト指定を選択した。
ファームウェア デフォルト指定解除	ファームウェアのデフォルト指定を解除した。
グループ追加	グループを追加した。
グループ削除	グループを削除した。
グループ参加	機器をグループに参加させた。
グループ離脱	機器をグループから離脱させた。
テナントデータ退避開始	テナントデータの退避を開始した。
テナントデータ退避完了	テナントデータの退避が完了した。
テナントデータ退避失敗	テナントデータの退避が失敗した。
テナントデータ復帰開始	テナントデータの復帰を開始した。
テナントデータ復帰完了	テナントデータの復帰が完了した。
テナントデータ復帰失敗	テナントデータの復帰が失敗した。
テナントデータインポート開始	テナントデータのインポートを開始した。
テナントデータインポート完了	テナントデータのインポートが完了した。
テナントデータインポート失敗	テナントデータのインポートが失敗した。
ログイン	アカウントが CMS にログインした。
ログアウト	アカウントが CMS からログアウトした。
ログアウト要求通知	CMS がアカウントに対して ログアウトを要求した。
無通信ログアウト	クライアント PC からの通信が一定時間途絶えたため、 対象ユーザをログアウトさせた。
スケジュール追加	スケジュールを追加した。
スケジュール削除	スケジュールを削除した。
スケジュール変更	スケジュールを変更した。
スケジュール動作を中止	スケジュール動作を中止した。
スケジュールによるデフォルト ファームウェア更新開始	スケジュールによる「ファームウェアデフォルト指定選 択」動作命令を開始した。
スケジュールによるデフォルト ファームウェア更新完了	スケジュールによる「ファームウェアデフォルト指定選 択」動作命令をすべて起動した。
スケジュールによる デフォルトコンフィグ更新開始	スケジュールによる「コンフィグデフォルト指定選択」 動作命令を開始した。
スケジュールによる デフォルトコンフィグ更新完了	スケジュールによる「コンフィグデフォルト指定選択」 動作命令をすべて起動した。

製品名追加	製品名を追加した。
製品名削除	製品名を削除した。
製品名変更	製品名を変更した。
HTTP アクセス変更	HTTP アクセス設定を変更した。
HTTP 認証情報追加	HTTP 認証情報を追加した。
HTTP 認証情報削除	HTTP 認証情報を削除した。
CMS 起動	CMS が起動した。
CMS 停止	CMS が停止した。
RAID エラー発生	RAID エラーが発生した。
RAID エラー復旧	RAID エラーが復旧した。
SPARE エラー発生	SPARE エラーが発生した。
SPARE エラー復旧	SPARE エラーが復旧した。
DISK エラー発生	DISK エラーが発生した。
DISK エラー復旧	DISK エラーが復旧した。

FutureNet CMS-1300 ユーザーズガイド(テナント編) Ver.2.0.0 対応版

2020年8月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

Copyright © 2020 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.